

ゴールまであと少し！

～第35回大泉町マラソン大会～



広報
おおいずみ

2012

1.10

Vol.730

年頭のごあいさつ

気品と風格のある

まちづくりを

大泉町長 齊藤直身

新年あけましておめでとうございます。

町民の皆様には清々しい新春を元気にお迎えのことと拝察し、心からお喜び申し上げます。

また、平素より町行政に対し深いご理解とご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

昨年を振り返って

昨年を振り返りますと、ギリシャの財政問題に端を発した、世界的な金融不安のなか、円高などによる輸出関連産業の不振と、本町を取り巻く環境は依然として厳しいものがありました。

加えて、3月11日には、東日本大震災が発生し、広

範囲の地域で想像を絶する甚大な被害を受け、本町においても1000件を超える屋根瓦の損壊や公共施設において多くの被災を受けました。さらに、計画停電や放射線対策など、かつて経験したことがない対応もいたしました。

私は、このようなときこそ、人と人との「絆」が大きな力となると確信し、町内施設の早期復旧にあたるとともに被災者・被災地の支援にあたってまいりました。この支援事業では、町

民の皆様には義援金を募り、被災地での炊き出しや被災者の受入れにあたって、多くの皆様に参画をいただくとともに、職員を数度にわたり宮城県亘理町にボランティア派遣いたしました。改めて、困難に毅然と立ち向かう勇氣、豊かな心、地域活動やボランティアで培った大きな力を認識いたしました。

この支援で得た貴重な経験をこれからのまちづくりに生かしてまいりたいと考えております。

人と人との「絆」が

きずな

大きな力となると確信

協働のまちづくり

昨年は、第五次総合計画の一年目となり、「みんなで考え、みんなで進めるまちづくり」を基本理念として協働のまちづくりを進めてまいりました。そのための支援策として、町民の皆様が自ら企画した活動を助成するため「元気な地域支援事業補助金」を創設いたしました。

また、昨年度から2年間にわたって行われてきた南中学校の改築工事も、一部の外構工事を除き完成いた

しました。

生活環境や保健福祉面では、環境フェアの開催、子宮頸がんなどの予防接種の助成制度の導入、ファミリー・サポート・センターの開設など、社会的弱者に優しく、誰もが安心して暮らせるよう、対策を強化したところです。

一方、本町の財政状況に目を向けますと、国内外の経済情勢などの影響により、税収の低下など自治体財政への影響は深刻なものとなっております。

現在、行政コストの削減は喫緊の課題となっており、本町

が安定して未来にわたって存続できるように第5次行政改革大綱の策定を進めております。

この大綱は、財政運営にかかる無駄を排除するだけでなく、町民の皆様が主役としてまちづくりに参画していただくための協働を推進し、町民幸福度の向上を図るための改革となっております。



町発足55周年

季節は移り、3月31日には、大川村、小泉町が昭和32年に合併し、大泉町が誕生してから55周年を迎えます。

本町の歴史を遡りますと、戦後、米軍が進駐し、軍需産業から基地の町へ、その後、昭和35年に首都圏市街地開発地区の指定を受け、工業都市へと変遷いたしました。

工業都市として躍進するなかで、中小企業は慢性的な労働不足となり、人手不足により倒産する企業も出現いたしました。

平成2年には、その転機となる外国人の在留資格に関する法改正が行われ、外国人の就労者が急増いたしました。外国人定住者の急増に伴う多くの課題が生じ、町では「秩序ある多文化共生」を基本とし取り組みを進めてまいりました。

また、国に対しては「外国人集住都市会議」のメンバーとして多くの提言を行い、長年の懸案でありました外国人定住者の居所確認について、外国人登録制度の見直しが行われ、改正住民基本台帳法に基づく新たな制度が7月から実施されることとなりました。外国人施策の大きな進展と考えています。

また、街路整備や区画整理事業、いずみ緑道を始めとする公園整備など都市基盤整備を積極的に進めるなかで、緑豊かな「うるおいのあるまち」となっております。

一方、社会資本整備の進んだある程度「成熟したまち」となるなかで、高齢化・人口減少社会に入り、「物が中心の時代」から「心が中心の時代」へと転換し、新たなまちづくりのステージへと進んでいると考えております。

町発足55周年の節目の年にあたり、改めてこのまちづくりに携わった多くの先人に感謝を申し上げるとともに、「成熟したまち」としての完成度を高め、人と人との「絆」を深め、社会的弱者に優しく、気品と風格のあるまちづくりを進めてまいりたいと意を強くしたところです。

これから始まる55周年記念事業には、協働のまちづくりの視点で多くの町民の皆様が参画をいただき、質素のうちにも優しさと実効性がある事業を進めたいと考えております。

結びに

本年が町民の皆様にとつてすばらしい年となりますよう、心からご祈念申し上げますとともに、町政へのいっそうのご理解とご協力をお願い申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

「心が中心の時代」へ転換し 新たなまちづくりのステージへ



住宅・医療費・雑損控除関係 還付申告相談会

税務課

内線 156

【住宅関係】

平成23年中に住宅ローンなどを利用してマイホームの新築、購入、増改築などをした人で、住宅税制にかかる各種控除を選択し、適用を受ける人を対象に、申告相談会を行います。

□期日 2月7日(火)
□用意する書類

- ・住民票
- ・借入金の年末残高等証明書
- ・家屋・敷地の売買(請負)契約書
- ・家屋・敷地の登記事項証明書など

※住宅の取得等の区分により書類が異なります。

【医療費関係】

平成23年中の収入が給与収入の人で、他に収入がなく年末調整済の源泉徴収票をお持ちの人を対象に、医療費控除(23年中の医療費支払金額が原則として10万円を超える人)の申告相談会を行います。

なお、申告相談にお越しになる前に、あらかじめお支払いされた医療費の金額

をまとめてきていただきますようお願いいたします。

金額をまとめるのに必要な医療費明細書は、税務課町民税諸税係の窓口や町ホームページの申請書ダウンロードから入手できます。

□期日 2月8日(水)
□用意する書類

- ・平成23年中に支払った医療費領収書(医療費のお知らせ)は不可)
- ・支払った医療費のうち、社会保険や生命保険などから補てんされた金額がわかる書類

【雑損控除関係】

平成23年中の収入が給与収入の人で、他に収入がなく年末調整済の源泉徴収票をお持ちの人、または、平成23年中の収入が年金収入のみの人で、他に収入がない人を対象に、東日本大震災にかかると雑損控除の申告相談会を行います。

□期日 2月9日(木)、10日(金)
□屋根瓦に被害を受けた場合に用意する書類

- ・被害を受けた資産の取壊し費用、除去費用、修繕費用などのわかるもの(請求書、領収書など)
- ・被害を受けたことにより受け取る補助金や保険金などの金額がわかるもの(補助金確定通知書、保険金の支払通知書など)
- ・市町村から「り災証明書」の交付を受けている場合にはその証明書



□屋根瓦以外にも被害を受けた場合に、さらに用意する書類

- ・被害を受けた資産、取得時期、取得価格のわかるもの(建物の請負契約書など)
- ・被害を受けた家屋の取得価格が分からない場合は、その面積がわかるもの(登記事項証明書など)

※東日本大震災に係る雑損控除は平成22年分の所得から控除することができる場合もあります。

合もありません。

【共通事項】

□時間

- ・午前の部：午前9時～(受付時間は午前8時30分～11時)
- ・午後の部：午後1時30分～(受付時間は午後1時～3時30分)

□場所

- ・役場3階大会議室
- 持参する物
- ・印鑑
- ・平成23年分源泉徴収票の原本
- ・還付金を受け取る預貯金の口座番号(申告者名義)が確認できるもの

□注意事項

- ・源泉徴収票の「源泉徴収税額」欄に金額の記載がない場合は、申告をしても還付される税金はありません
- ・当日は関係する書類が全てそろっていれば、その場で確定申告書を提出することができます
- ・いずれの相談会でも、当日は番号札を用意し、個別の申告相談となります

※詳しくは、税務課町民税諸税係へ。

大地震に備えて 早めの耐震化を！

【在来木造住宅震動台実験】

写真上段は、昭和56年5月31日以前の古い耐震基準で建てられた木造住宅で、右側の住宅には耐震補強（筋かいによる補強や、金物による補強など）をしています。

震度7相当の揺れを加えると、補強なしの住宅（左側）は、写真下段のように倒壊してしまいました。

古い建物でも耐震補強をすれば、強い揺れを受けても倒壊しないことがわかります。



震度7相当の揺れを加えると…



【大地震に備えて早めの耐震化を】

平成23年3月11日の東日本大震災では、町内でも最大震度5強を観測し、建物にも被害が発生しました。今後、この震度以上の地震が来ても安心して暮らせるように、住宅の耐震化に努めていきましょう。

町では、木造住宅の耐震診断、耐震改修に補助を行っています。詳しい内容については広報おおいずみなどでお知らせします。

※詳しくは、建築課（内線205）へ。
（写真提供…防災科学研究所Eディフェンス）

大泉町役場は
☎ 63-3111です



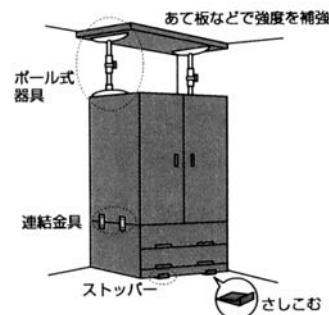
災害に備えて 家庭で対策をしましょう

地震・台風などの自然災害は、各家庭で災害に備えることにより被害を軽減させることはできません。

東日本大震災を経験したあなた自身、ご家族、地域の皆さんで、大規模地震などの災害に対する備えをして、被害の軽減に努めましょう。

□地震への備えとして
「家具は倒れるもの」と考え、下図の家具の固定例を参考に、日頃より備えておきましょう

■家具の固定例



□家具の配置 万が一、家具が倒れてきたときに、寝ている人や座っている人に家具が直撃しないよう、また出入口を塞が

□身の守り方

- ・あわてて外に飛び出さない
- ・無理して火を消そうとしない
- ・頭を保護し、丈夫な机の下などに隠れる
- ・人の大勢いる施設では、係員の指示に従う
- ・エレベーターでは、最寄りの階に停止させすぐ降りる
- ・ブロック塀など倒れてきそうなものから離れる

- ・看板やガラス窓から離れる
 - ・自動車運転中では、急ブレーキはかけず、ゆるやかに速度を落とす
 - ・山やがけでは、落石やがけ崩れが発生しそうな斜面から離れる
- ※詳細は、災害被害を軽減する国民運動のホームページ（<http://www.bousai.go.jp/km/index.html>）でもご覧いただけます。詳しくは、安全安心課へ。
（出典：内閣府発行パンフレット「みんなで減災」）



固定資産税(償却資産)の申告

税務課
内線158

償却資産とは、土地、家屋以外の事業の用に供することのできる有形の固定資産で、法人税法または所得税法の規定による所得の計算上、減価償却の対象となる資産をいいます。

法人や個人で工場や商店、不動産賃貸業などを営んでいる場合、所有している事業用資産(構築物・機械・器具・備品など)には償却資産として固定資産税がかかります。土地・家屋については登記簿などにより課税対象が把握できますが、償却資産についてはこれに相当するものがないため、地方税法第383条により申告が義務付けられています。

町内に償却資産を所有している人は、多少にかかわらず平成24年1月1日現在の所有資産について申告してください。申告書などは、昨年12月上旬に発送しています。事業を営んでいる人で申告書が届かない場合はご連絡ください。

課税対象となる償却資産の一例(業種別抜粋)

業種	課税対象となる償却資産
共通	駐車場設備、受変電設備、舗装路面庭園、外溝、パソコンなど
小売店	商品陳列ケース、陳列棚 冷凍庫、冷蔵庫など
飲食店	接客用家具、冷暖房設備 テレビ、厨房設備など
理容業・美容院	理美容椅子、洗面設備 サインポール、テレビなど
医院・歯科医院	各種医療機器(手術台、X線装置、CTスキャンなど)、調剤機器など
駐車場事業	柵、照明などの電気設備 駐車装置(機械設備、ターンテーブル)など
製造業	旋盤、プレス機、金型 洗浄給水設備、溶接機など
建設業	ブルドーザー、パワーショベル ミキサーなど
パチンコ店 ゲームセンター	パチンコ台、パチスロ台 ゲームマシン、両替機、放送設備など

課税対象となる償却資産(一括償却資産)

※詳しくは、税務課資産税係へ。

- 資産の一例
- 自動車税・軽自動車税の課税客体
- 耐用年数1年未満の資産
- 取得価格が10万円未満の資産で、法人税法などの規定により一時に損金算入されたもの(少額償却資産)
- 取得価格が20万円未満の資産で、法人税法などの規定により3年間で一括して均等償却するもの

の一例 左表のとおり
□申告書の提出期限 1月25日(水)
□実地調査 町では、地方税法第408条(市町村長は、固定資産評価員または固定資産評価補助員に当該市町村所在の状況を毎年少なくとも一回、実地に調査させなければならぬ)に基づき一年に一回実地調査を行っています

パスポートの申請は 役場住民課へ



大泉町に住民登録をしている人のパスポートの申請・交付の窓口は、平成23年10月から、役場住民課パスポート窓口になっています。

東毛バスポートセンターなど県のバスポートセンターでは、原則、申請・交付ができませんのでご注意ください。

【申請】
□受付日時 月～金曜日
 午前9時～午後4時30分(祝日、年末年始は除く)

【交付】
□受付日時
 ・月～金曜日 午前8時30分～午後5時15分
 (水曜日は午後7時15分まで。祝日、年末年始は除く)



第23回 大泉町児童生徒作品展

町内小中学校の児童生徒が制作した、個性豊かでアイデアあふれる作品を展示します。

□日時 1月18日(水)～22日(日) 午前9時～午後4時30分

□場所 文化むら展示ホール（朝日5-24-1）

□内容

・平面、立体、書写の代表作品約800点を展示

・「吉田遺跡Ⅱ」関連史料の展示

※詳しくは、学校教育課（内線302）へ。

西中学校が受賞しました

ボランティア功労者 厚生労働大臣表彰

平成23年11月21日に前橋市で開催された県社会福祉大会で、西中学校がボランティア功労者の厚生労働大臣表彰を受賞しました。これは、ボランティア活動などに率先して取り組む個人や団体を表彰するもので、これまでに西中学校が取り組んできた募金活動、環境美化活動、福祉体験学習などの成果が認められ、全国で9校の表彰校に選ばれました。当日は、代表生徒2人が、日頃のボランティア活動や福祉学習について発表をしました。



11月21日、県社会福祉大会の様子

※詳しくは、学校教育課（内線302）へ。

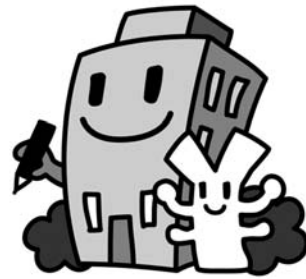
大泉町役場は

☎ 63-3111です



平成24年2月1日現在で、全ての事業所・企業を対象とした経済センサス・活動調査が実施されます。

ビルくんとケイちゃん



経済センサス・活動調査は、我が国における産業構造を包括的に明らかにすることを目的とする政府の重要な調査で、「統計法」に基づいた報告義務のある基幹統計調査です。支社などのない事業所などには、調査員が直接伺い、調査票を配布します。支社などを有する企業などには、国、都道府県および市が、民間事業者を通じて本社などに調査票を郵送し、インターネットまたは郵送

で回答していただきます。調査票にご記入いただいた内容は、統計作成の目的以外（税の資料など）に使用することは絶対ありません。調査結果は、各種行政施策をはじめ、地域の産業振興や商店街の活性化などの地域行政のための基礎資料として活用されます。調査の趣旨・必要性をご理解いただき、ご回答をよろしく願います。※詳しくは、商工課へ。

平成24年経済センサス・活動調査

商工課

内線137

・土曜日 午前8時30分～午後5時15分（年末年始は除く）

【パスポート用写真についてのお願ひ】

パスポート申請用の写真については、規格が細かく決められており、撮り直していただく場合があります。写真専門店でも撮ってもらうことをお勧めします。

また、写真は申請書に貼らずに持参してください。

※詳細は、町ホームページでもご確認いただけます。詳しくは、住民課（内線129）へ。

くらしの Information Oizumi 情報



元気に育ったサケの稚魚をお分けします

「おおいずみまちサケと遊ぶ会」

「おおいずみまちサケと遊ぶ会」では、昨年12月4日にサケの受精卵を無料配布しましたが、サケの孵化に失敗してしまつた人、これから稚魚を育てて3月4日(日)の一斉放流にチャレンジしたい人に、元気に育つたサケの稚魚をお分けします。

希望者は、「おおいずみまちサケと遊ぶ会」阿部さんへ電話で連絡し、汲み置きした水

を入れた容器を持参してお越しください。
※詳しくは、「おおいずみまちサケと遊ぶ会」阿部さん ☎62・5604へ。

第6回館林邑楽医療フォーラム

館林厚生病院総務課

館林厚生病院では、「これから医療へ新しい治療法」をテーマに、第6回館林邑楽医療フォーラムを開催します。

□日時 2月4日(土) 午後1時30分～4時30分

□場所 館林市三の丸芸術ホール(館林市城町1の2)

□内容

・現状報告

・特別講演「日本の臓器移植の現状」群馬県下での脳死下臓器提供症例について

□講演者 菊池雅美氏(日本

東日本大震災関連情報

【町内の放射線量の定点測定】

町では、町内の公共施設などにおいて屋外の空間放射線量の測定を実施し、測定の結果は、地上高さ1m地点の基準値[0.23マイクロSv/時]を下回っています。

□測定日 12月6日～20日

□測定場所 町内公共施設など 42地点(地上高さ1m地点)

□測定値

・最大値…0.116マイクロSv/時
・最小値…0.061マイクロSv/時
※詳細は、町ホームページをご覧ください。

【水道水の安全性】

12月6日、20日に町内2か所の浄配水場と、12月27日に東部地域水道事務所(千代田町)で放射性物質の検査を行った結果、それぞれ放射性物質は検出されず、飲用に支障がないことが確認されています。

【被災者への支援(12月28日現在)】

□義援金総額 1,513万1,121円
□避難者受入件数 6世帯22人(長沼町営住宅)

シニア就業支援センター

シニア就業支援センター

シニア就業支援センターでは、中高齢者の再就職支援や就業、年金などの生活設計についての相談・職業紹介・情報提供などを行っています。

□日時 月々金曜日 午前9時～午後5時15分

(祝日、年末年始は除く)

□場所 県社会福祉総合センター内(前橋市新前橋町13の12)

□対象 主に中高年齢者

□内容

・職業相談(適正診断、就職先の選び方、履歴書の書き方、面接対策など)や個別の求人開拓などにより、主に中高齢者を対象とした求

危険物取扱者保安講習会

太田市消防本部予防課

太田市消防本部では、危険物取扱者保安講習会を開催します。

危険物取扱者免状の既得者

で、引き続き危険物取扱作業に従事している人は、前回の講習を受けてから3年以内に、新たに危険物取扱作業に

臓器移植ネットワーク・フ移植コーディネーター、稲葉伸之氏(総合太田病院群馬県臓器移植コーディネーター)
□定員 500人(定員になりしだい締め切り)
□費用 無料
※希望者は、当日、直接会場へお越しください。詳しくは、館林厚生病院総務課(☎72・3140)へ。

□定員 500人(定員になりしだい締め切り)

□費用 無料

※希望者は、当日、直接会場へお越しください。詳しくは、館林厚生病院総務課(☎72・3140)へ。

危険物取扱者保安講習会

太田市消防本部予防課

太田市消防本部では、危険物取扱者保安講習会を開催します。

危険物取扱者免状の既得者

で、引き続き危険物取扱作業に従事している人は、前回の講習を受けてから3年以内に、新たに危険物取扱作業に

従事された人は1年以内に受講してください。ただし、新規に免状を取得した人は3年以内に受講してください。
□日時(2回のうちいずれかを受講)
・平成24年2月7日(火)
①午前9時～正午
②午後1時30分～4時30分

□場所 太田市消防本部(太田市鳥山下町409の1)

□申込方法 免状と群馬県収入証紙を持参し、太田市消防本部予防課および中央・東部・西部・大泉消防署の各総務・予防係へ申し込む

□申込期間 1月17日(火)～31日(火)

□受講料 4700円(テキスト代含む)

※受講料は必ず群馬県収入証紙で納付してください。詳しくは、太田市消防本部予防課(☎33・0202)へ。

県産業別最低賃金改正

群馬労働局労働基準部賃金室

平成23年度の県の最低賃金が平成23年10月7日に改正発効し、特定（産業別）最低賃金が、平成23年12月28日に改正発効されました。

□県最低賃金（1時間あたり）
690円

□特定（産業別）最低賃金（1時間あたり）

・製鋼・鉄素形材製造業… 799円

・一般機械器具製造業… 788円

・電気機械器具製造業… 786円

・輸送用機械器具製造業… 788円

※詳しくは、群馬労働局労働

臨時補助教員を募集しています

町教育委員会では、4月より臨時補助教員として勤務できる人の登録を随時受け付けています。登録後、面接・選考により採用を決定します。

□勤務日 学校の授業のある日（土・日曜日、祝日、夏季・冬季休業は基本にお休みです）

□勤務時間 1日4時間

□勤務場所 町内小中学校

□資格 小学校および中学校教諭免許状取得者（どちらか片方の免許をお持ちの人、または3月取得見込みの人也可）

※申込方法など詳しくは、学校教育課（内線302）へ。

基準部賃金室（☎027・210・5005 <http://gunma-roudoukyoku.site.nhlw.go.jp/>）へ。

源泉徴収票が送られます

ねんきんダイヤル

老齢を支給事由とする年金を受けている人には、1月中旬から下旬にかけて日本年金機構から「公的年金等の源泉徴収票」が送られます。この源泉徴収票には、昨年の1月から12月までの1年間に支払われた年金額、源泉徴収された税額、控除の内容が記載されています（介護保険料などが年金から特別徴収されている場合の源泉徴収額は、支払われた年金額から介護保険

料額などを控除した後の金額で計算されています。年金のほかに収入があるなどの理由で確定申告をする人は、申告手続きをする際にこの源泉徴収票が必要になります。

もし、1月末日までに源泉徴収票が届かない場合や紛失してしまった場合には、年金証書を持参のうえ、住所地を管轄する年金事務所まで再発行の手続きをしてください。

なお、遺族年金、障害年金には税金がかかりませんので、これらを受給している人には源泉徴収票は送られません。

※詳しくは、ねんきんダイヤル（☎0570・05・1165、IP電話・PHSからは☎03・6700・1165）へ。

新入学外国籍児童の就学申請受付

学校教育課

4月から町立小学校への入学を希望する外国籍児童の保護者は、町教育委員会にて就学申請をする必要があります。

該当者には通知をします。で、手続きをお願いします。

□日時 1月23日（月）～27日（金）
午前8時30分～11時30分、午後1時～5時

□場所 学校教育課

□対象 2005年4月2日～2006年4月1日に生まれた外国籍幼児で、就学時健診を受診した人

※詳しくは、学校教育課（内線303）へ。

子どもおもしろ創造塾 きび団子を作って食べよう



町教育委員会では、子どもおもしろ創造塾「きび団子を作って食べよう」の参加者を募集します。

□日時 2月4日（土） 午前10時～

□場所 町公民館実習室（吉田2465）

□内容 きびともち米を使って団子を作り、出来上がったきび団子を食べます

□対象 小・中学生（小学3年生以下は保護者同伴）

□定員 20人（定員になりしだい締め切り）

□申込方法 生涯学習課へ直接、参加費を添えて申し込む

□申込期間 1月16日（月）～27日（金）（土・日曜日は除く）

□費用 300円（保険料など）

※詳しくは、生涯学習課（内線306）へ。

人情情報の提供および職業紹介を行います

・企業などで培った知識や経験などを持った高齢者と支援を必要とする企業とをマッチング

し、高齢者の積極的な能力活用を応援します

・就農、起業、地域活動、生涯学習、年金などの

生活設計の情報提供や専門機関への案内を行います

□申込方法 シニア就業支援センター（☎027・2255・2300）へ電話で申し込む

□費用 無料

※詳しくは、県労働政策課（☎027・226・3407）へ。



日曜緑化講座

県緑化センター

【庭木の病虫害防除と管理方法】

□日時 2月12日(日) 午前10時～正午

□場所 県緑化センター(邑楽町中野3924の1)

□内容 庭木に発生する病害虫の防除方法について学びます

□定員 60人(定員になりしだい締め切り)

□申込期間 1月30日(月)～2月11日(土)

□申込方法 県緑化センターへ電話で申し込む

□費用 無料

※詳しくは、県緑化センター(☎88・7188)へ。

ひげじいん家のアレルギー教室

群馬アレルギー疾患・呼吸器内科病院

【今からでも間に合う花粉症対策】

□日時 2月25日(土) 午後3時～4時30分

□場所 群馬アレルギー疾患・呼吸器内科病院(邑楽町篠塚3233の1)

・講演会：研究所棟研修室
・交流会：ひげじいん家のキッズルーム

□内容 講演「花粉症をコントロールしよう!」、交流会

□講師 黒沢元博氏(群馬アレルギー疾患・呼吸器内科病院院長)

□申込方法 群馬アレルギー疾患・呼吸器内科病院外来看護師へ直接、または電話で申し込む

□申込期限 2月16日(木)

□費用 無料

※講演中は託児を実施しません。詳しくは、群馬アレルギー疾患・呼吸器内科病院(☎88・5678)へ。

農と食のふれあい講座

県立農林大学校研修部

□講座名・定員(定員を超えた場合は抽選)

・「家庭菜園で春夏野菜づくり」
・「趣味のバラづくり」
・「クリンカーテックづくり」家

庭菜園で秋冬野菜づくり
：各50人

・「花壇づくり」：30人
・「初めての野菜づくり1」

・「初めての野菜づくり2」
・「春夏の庭木管理1」
・「春夏の庭木管理2」：各20人

□場所 県立農林大学校(高崎市箕郷町)

□対象 県内在住の人

□申込方法 往復はがきの往信面に希望する講座名、開催日、住所、氏名(ふりがな)、電話番号を書き、返信面に郵便番号、住所、氏名を記入し、県立農林大学校研修部(T3713105 高崎市箕郷町西明屋1005)へ郵送する(1枚のはがきで1講座のみ応募)

□申込期限 2月15日(水) 消印有効

□注意事項

・初めての野菜づくり1・2、春夏の庭木管理1・2はそれぞれ同じ講座内容になるため、重複の申し込みはできません

・希望講座受講の可否は、返信用はがきで3月15日(木)頃までに通知します

□費用 無料

※日程や講座内容など詳しくは、県立農林大学校研修部(☎027・371・3244 <http://www.gunma-iaf.ac.jp/>)へ。



多重債務者 無料法律相談会

町消費生活センター

弁護士や司法書士による債務整理相談、多重債務者支援団体による生活再建相談、県こころの健康センターと保健福祉事務所によるこころの健康相談などを面接により行います。秘密は厳守します。

□日時 2月4日(土) 午後1時30分～5時

□場所 役場

□定員 10人(定員になりしだい締め切り)

□申込方法 町消費生活センターへ電話で申し込む

□費用 無料

※詳しくは、町消費生活センター(☎63・3511)へ。



第38回 群馬県民 政治大学講座

□日時 1月31日(火) 午後2時30分～4時

□場所 群馬会館ホール(前橋市大手町2の1)

□演題 どうなる!? 今後の日本～日本の未来と地方の行方～

□講師 萩谷 順氏(法政大学教授・ジャーナリスト)

□定員 400人(定員になりしだい締め切り)

□申込方法 県選挙管理委員会へ直接、電話、またはFAX(027・243・2205)で申し込む

・県ホームページから必要事項を入力し、申し込む

□申込期限 1月25日(水) 必着

□注意事項 自動車で来場される場合は、県庁県民駐車場をご利用ください

□費用 無料

※詳しくは、県選挙管理委員会(☎027・226・2218)へ。

定例相談

秘密厳守・相談無料

○ 町民相談

- 日時 月～金曜日 午前8時30分～午後5時分
 - 場所 町民相談室（役場内）
 - 内容 行政に対する苦情や要望、日常生活上の悩みごとや困りごと
- ※フリーダイヤル ☎0120・001304

○ 法律相談

- 日時 1月26日(木)・2月9日(木) 午前10時30分～午後3時30分
 - 場所 町民相談室（役場内）
 - 担当者 顧問弁護士
- ※相談希望の人は、予約が必要なため、あらかじめ町民相談室(内線130)へ。

○ 人権・行政相談

- 日時 2月14日(火) 午後1時30分～4時
 - 場所 役場3階第1小会議室
 - 担当者 人権擁護委員、行政相談委員
- ※相談希望の人は、予約が必要なため、あらかじめ町民相談室(内線130)へ。

○ 教育相談

- 日時 月～金曜日 午前10時～午後4時
 - 場所 教育研究所（城之内4-2-1）
 - 担当者 教育相談員
 - 内容 非行、いじめ、不登校などの教育に関する悩みごと
 - 対象 小学生、中学生、保護者ほか
- ※詳しくは、教育研究所 ☎63・8626へ。

○ 親と子の電話相談

- 日時 月～金曜日 午後2時～5時
 - 担当者 相談経験豊かな先生
 - 内容 学校での悩みごとなど
- ※フリーダイヤル ☎0120・001305

こころの電話相談

県精神保健福祉協会事務局

こころの病気や不安・悩みをもつ人の電話相談を受け付けます。

□日時 2月5日(日) 午前10時～午後3時

□内容 仕事などで平日に相談できない人のために、精神科医師、保健師が電話相談に応じます

□対象 こころの病気や不安・悩みなどの相談がある人（本人・家族）

□専用電話番号 ☎027・290・2920

□費用 無料（ただし、電話代はかかります）

※より多くの人の相談を受けるため、個々の相談時間を制限させていただきます

詳しくは、県精神保健福祉協会事務局（県こころの健康センター内）☎027・263・1166へ。

身体障害者巡回相談

福祉課

県心身障害者福祉センターでは、巡回相談を実施します。

□日時 2月8日(水) 午前10時10分～正午（受付）

□場所 館林市総合福祉センター（館林市苗木町245-1の1）☎75・7111

□相談科目 整形外科・補装具の判定

・身体障害者に関する各種の相談

□申込方法 福祉課へ申し込

む（予約制）

□持参する物 印鑑、身体障害者手帳

□費用 無料

※障害が重いなどの理由で会場に来所できない人については、在宅訪問診療もあります。詳しくは、福祉課（☎55・2631）へ。

全国一斉！ 法務局休日相談所

前橋地方法務局総務課

前橋地方法務局では、「法務局休日相談所」を開設します。秘密は厳守します。

□日時 2月12日(日) 午前10時～午後2時30分

□場所 太田ナウリゾートホテル3階（太田市飯田町1-267）

□相談内容

・土地・建物の売買、相続、土地の地目変更、建物の新築、滅失などの不動産登記

・会社・法人登記

・土地の境界

・戸籍、国籍、供託および人権擁護

・遺言書および公正証書の作成

□対応 法務局職員、公証人、司法書士、土地家屋調査士および人権擁護委員

□申込方法 前橋地方法務局総務課へ電話で申し込む

□申込期限 2月10日(金)

□費用 無料

※当日受付も行いますが、予約者が優先される場合があります。詳しくは、前橋地方法務局総務課（☎027・221・4463）へ。

失語症者のための言語学習会

言語学習会

□日時 毎週月曜日 午前10時～午後3時（祝日は除く）

□場所 太田市福祉会館（太田市浜町2の7）

□内容 携帯用会話補助装置と「言語くん自立編」などで学習する

□対象 失語症で困っている人

□申込方法 群馬失語症友の会へ電話で申し込む

□費用 無料

※詳しくは、群馬失語症友の会榎氷さん（☎090・6304・9441）へ。

お気軽にご相談ください！



支援物資の配布会は、昨年の11月と12月の2回に分けて行われましたが、皆さんの温かい支援により、多くの支援物資が集まりました。

避難者の皆さんにごでききる「J」を

北児童館母親クラブの皆さんによる

支援物資配布会を紹介しします

「みんなの声」は、みんなで創るページです。皆さんからの情報、「ご意見」、「ご質問」など、どんどんお寄せください。

平成23年11月8日と12月13日の2日間、北児童館で東日本大震災により大泉町に避難されている人を対象にした支援物資配布会が行われました。

今回は、より身近な被災者の皆さんに喜んでもらおうと北児童館母親クラブの皆さんの呼びかけにより実施された、この配布会を紹介します。



衣料品（左）や日用品など
たくさんの物資が集まりました

東 日本大震災から10か月が過ぎ、季節は冬を迎えています。昨年末には原子炉の冷温停止状態が宣言されたものの、大泉町においても被災者の皆さんの避難生活は、現在もなお続いています。

皆 さんの温かいご支援により、たくさんの物資が集まりました」と話すのは、北児童館母親クラブ会長の長谷川妙子さんと大野静さんです。

子育てのなかで、避難者のひとりごとの知り合いになつた大野さんは、必要なものがほとんどなく、お皿一枚から買い揃えなければならなかった避難当初の状況や慣れない場所での生活の話をお聞きます。被災地の皆さんへの支援はもちろんですが、大泉町に避難しているより身近な人たちへの支援の必要性を感じた大野さん



OIZUMI TOWN

今月の納期

- 納期限 1月31日(火)
- 今月の納期
 - ・町県民税 4期
 - ・国民健康保険税 7期
 - ・介護保険料 7期
 - ・後期高齢者医療保険料 7期

時間外窓口

【延長窓口】

・1月11日、18日、25日および2月1日、8日の水曜日 午後7時15分まで

□開設課 住民課・税務課・収納課・建築課

【土曜窓口】

・1月14日、21日、28日および2月4日の土曜日 午前8時30分～午後5時15分

□開設課 住民課・収納課・水道課

※内容によっては受付ができないこともありますので、事前にご確認ください。詳しくは、各担当課へ。

町の人口と世帯

	12月15日現在の数	前月対比
人口	41,115人 (6,210人)	-25 (+3)
男	21,215人 (3,277人)	-12 (+4)
女	19,900人 (2,933人)	-13 (-1)
世帯数	17,525世帯 (3,125世帯)	-23 (-13)
出生 10人 死亡 15人		

()内は外国人登録者・世帯数

先月の119番

	12月分	平成23年累計
△火災発生	1(1)件	12(11)件 ()内は建物火災
△損害額	調査中	17,664,000円
△救急出動	116件	1,342件
●交通事故	16件	175件
●急病	78件	912件
●その他	22件	255件

- ・火災の問い合わせ ☎0180・992・666
- ・病院の照会 ☎45・7799
- ・大泉消防署 ☎62・3119
- ・太田市消防本部 ☎33・0119

〒370-0595 大泉町役場 広報情報課
 電話 63-3111 FAX 63-3921
 kouhou@town.oizumi.gunma.jp

取 は、個人的な協力だけでなく、所属する北児童館母親クラブの皆さんとともに更に大きな支援をしたいという思いから行動を開始します。まずは、物資が無駄にならないように避難している人から必要な物資を直接確認し、10月11月にかけて全児童館の母親クラブや県危機管理室に物資の提供を呼びかけるとともに、多くの人に協力してもらおうとポスターやチラシも作成し周知を図りました。

取材に伺った2回目の配布会では、県からの支

援物資に皆さんから集まったものも加わり、会場となった北児童館の学童室は支援物資でいっぱいになりました。配布会に参加した皆さんが持ち帰る衣料品や生活用品も段ボール数箱分になるほどでしたが、「皆さんからの支援は本当にあり



手作りのポスターなどで協力を呼びかけました

がたいですし、避難者どうしの情報交換もできて、とてもよかったです」と感謝の言葉も聞かれました。

配布会を終えた長谷川さん、大野さんは「少人数で始めた取り組みが最終的には地域の皆さんにも協力をいただき大きな力となりました。多くの皆さんの心温まるご協力に感謝し、この場を借りてお礼申し上げます。とは、今後も町や児童館などの行事を通して交流していきたいですし、できる限り力になりたいと思っています」と話してくれました。

北 児童館母親クラブの皆さんは、子育てのネットワークを活用し、主体的な活動を行うことで支援の輪を広げることができました。地域や社会の課題などに対しては、行政だけでなく、住民自らが積極的に取り組む姿勢が重要ですが、同じ意識を持つ人どうしが協力することで活動の範囲を広げることができ、その効果を高めることにもなります。そういった意味でも、今回紹介した支援活動は町が推進する「協働のまちづくり」と通じるものがあるのではないのでしょうか。



◀ P・N
のあん



◀ P・N
ジョーカー



◀ P・N
のあん



イラストは黒で描いてね!

健康づくり課のスタッフが、健康についての鍵をご紹介します。

【今月の鍵】

手洗い・うがい

健康の鍵

【効果的な手洗い】
目に見えない病原体が、直接または間接的に手指などに付いて、□などから体内に入ることにより感染が起ります。病原体を手指から落とすには、流水でじゅうぶんに洗うことが大切です。

□通常の手洗い 流水と石けんを用いた手洗い（調理・食事の前、トイレ補助やおむつ交換後、手が汚れたと

【手洗い・うがいが大切】
これからの季節に流行する感染症（インフルエンザを含む）の予防には、手洗い・うがいを心がけることが大切です。日頃から、正しい手洗い・うがいを身につけ、感染予防に努めましょう。

①手のひらを合わせてよくこする
②手の甲を伸ばすようにこする
③指の先も片方の手のひらに円を描くように洗う
④指を組み指の間をこすり合わせる
⑤親指のつけ根をねじり洗いで洗う
⑥手首も忘れずに洗う
⑦流水で泡と汚れをきれいに洗い流す

【衛生的な手洗い】
消毒薬を用いた手洗い（血液および排泄物に触れた後、血液および排泄物で汚れた器具や衣類を取り扱った後など）

□手洗いの手順
①手のひらを合わせてよくこする
②手の甲を伸ばすようにこする
③指の先も片方の手のひらに円を描くように洗う
④指を組み指の間をこすり合わせる
⑤親指のつけ根をねじり洗いで洗う
⑥手首も忘れずに洗う
⑦流水で泡と汚れをきれいに洗い流す

⑧ペーパータオルまたは個人専用のタオルで拭く

【効果的なうがい】
□の中にいる病原体の数を減らしたり洗い流すことにより、□の中から体内に入る感染症を防ぐことができます。

□うがいの手順
①水を含み、強くフチュフチュしながら2〜3回洗います
②上を向いて、喉の奥のほうで10回くらいガラガラとうがいをします
③仕上げにもう1度ガラガラとうがいをします

※コップの共用は避け、紙コップや個人用のコップを使用しましょう。

（健康づくり課・久保田松江）

エッセイ

心豊かに 町長の日記から

～12月7日～

南中学校新校舎披露

当日は穏やかな小春日和に恵まれ、北側の正面入り口に、昂る気持ちを静めながら歩み寄った。クリーム色の三階建て新校舎の中心に、金色の校章が輝いている。その下の一階部分はピロティという通り抜け構造だ。子供の頃通った小泉小学校（現北小学校）を懐かしく思い出した。そのトンネル部分から校庭が輝いて見え、生徒らの元気な声が聞える。内装は県内産の木材が主として使われ、見た目と触感、残響などに優しい仕上がりである。すばらしい設計と建設して頂いた事業者の方を始め、町議会議員さん、地元区長さん、学校関係者の方々が一堂に会し、披露式典を執り行った。今後、数千人の生徒が、この近代的な学び舎から巣立ち、将来の日本を背負ってくれることを思うと感慨無量である。

校章や 師走の光 解き放ち
(こうしょうや しわすのひかり ときはなち)

完成した新校舎





消火器の訪問販売にご注意を

かしこい消費者の手引き

町消費生活相談員が、さまざまな事例を元に、かしこい消費生活を送るワンポイントをご紹介します。



【第22回】消火器の悪質な訪問販売

町消費生活センター ☎ 63・3511

【事例1】 消火器の購入者名簿を見たという事業者が来訪し、「古い消火器は使えないので回収する」と言い、新しい消火器を置いていった。処分費用も含めた代金1万7000円を全額現金で支払ったが、領収書をよく見ると火災報知器も購入したことになるので不審に思い、消防署へ相談したところ被害にあったことに気づいた。(70歳代女性)

【事例2】 使用期限が切れた消火器を自宅の庭に置いておいたところ、顔写真入りの社員証をつけた事業者が来訪した。会社の信用性を聞いたところ「怪しい会社が写真入りの社員証をつけて来訪することはない」と答えたので、信用してしまった。

購入するつもりはなかったが、言われるがまま申込書を書いたら1万7000円請求されたので、手元にあった1万円を渡した。事業者は「残金の回収は、後

日にする」と言い、古い消火器を回収し新しい消火器を置いていった。知人から「ホームセンターなら半額で買える。だまされたのではないか」と言われ被害にあったことに気づいた。(60歳代女性)

【解説】

- ・消火器の市場価格など一般的な知識が不足している状態で購入の決定をしています
- ・事業者は人当たりが良くやりとりも手慣れている。また、社員証や専用領収書などの外観の完成度が高いため、正規の事業者と思いつみ信用してしまいがちです

【アドバイス】

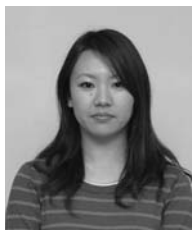
- ・訪問販売の場合、8日間以内であればクーリングオフができますが、領収書の連絡先が虚偽である場合は、支払った代金の返還要求ができません。お金を支払う前の落ち着いた判断が必要です
- ・買い替えに伴う廃棄については、購入した販売店に相談してください

※詳しくは、町消費生活センター(内線139、☎63・3511(直通))へ。

わんぱく先生のおてんば

File 118

町内の先生たちの「子ども時代」をすてきな思い出に乗せてご紹介!



大泉町立南小学校
澁澤知美先生



4歳の頃自宅にて

【ピアノがくれたもの】

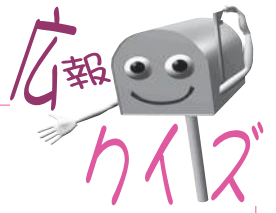
出会いはいつだったでしょう。きっかけはあやふやですが、母に頼み3歳からピアノを始めました。振り返ると、行事や式典、女子高時代のミュージカル伴奏など多くの時間をともに過ごし、思い出となるたくさんの場面に刻まれています。

…という綺麗なですが、実は思いどおりに指が動かず泣きながら弾いたり、悔しさから何度も投げ出しそうになりました。

それでも、伴奏のチャンスがあらうものならば気合いが入り「誰にも負けたくない」との気持ちから、努力するほうを選びました。人生は選択。超負けず嫌いの性格は、ピアノによってつくられた気がします。

幸せを感じる瞬間は、ピアノを通じて笑顔に出会えたとき。伴奏席から見る子どもたちの笑顔は格別で、私にとっての特等席です。





私のひと!

ご意見・ご質問・ご感想をお待ちしています!

〒370-0595 日の出 55-1 **広報情報課**

TEL 63・3111

FAX 63・3921

Eメール: kouhou@town.oizumi.gunma.jp

ご応募お待ちしております!

**図書カードが20人に
当たる!**

問題をよく読み、3つの答えの中から正しいものを選び、はがきに書いてお送りください。全問正解者の中から抽選で20人に500円の図書カードをプレゼントします。

今月の問題 (ヒント)

- ①第35回大泉町〇〇〇〇大会 (1ページ)
 - ①マラソン ②スポーツ ③サッカー
- ②「〇が中心の時代」へ (3ページ)
 - ①物 ②金 ③心
- ③〇〇〇の悪質な訪問販売 (15ページ)
 - ①みかん ②消火器 ③めがね
- ④「〇〇〇」をテーマに日頃の成果を披露 (19ページ)
 - ①ころも ②きずな ③いのち
- ⑤〇缶でカレーワンタン (20ページ)
 - ①鱈 ②鯖 ③桃

☆「バレンタインの思い出」を教えてください(お答えの中から、広報おおいずみに掲載させていただきます)。

応募方法 はがきに答え(例、①—④)、住所、行政区、氏名、年齢、電話番号と町政などに関するご意見ご要望がありましたら、書き添えてお送りください(匿名を希望される人は「匿名希望」と明記してください)。楽しい情報や文芸、イラスト、各種作品も大歓迎!
※応募は、1人1枚でお願いします。

あて先 〒370-0595 大泉町役場 広報情報課 「広報クイズ」係

締め切り 1月26日(26日の消印有効)

12月号の正解 ①—③ ②—④ ③—⑤

応募総数 56通で正解は56通でした

当選者 (敬称略)

浜野修一(2区)、真下ここあ(3区)、菅野歩美(5区) 金井英子(9区)、吉田修之(11区)、津田文美(13区) 工藤玉枝(15区)、小沼健太(16区)、服部あけみ(18区) 中里弘實(18区)、大熊達也(19区)、岡部美稀(19区) 菊地 涼(20区)、福島由美恵(22区)、川島利子(23区) 井達信雄(23区)、小泉由枝(27区)、武政里奈(27区) 伊久間琳音(30区)、松沼美咲(30区)

※当選者には、図書カードを郵送します。住所と氏名を忘れずにお書きください。

イラストは
黒で描いてね!



「年末年始の思い出」を教えてください!

12月10日号の広報クイズ ☆「年末年始の思い出」に寄せられた回答の中からご紹介します。

☑年越しそばを食べて元旦は福袋を買いに早めに出かけます。

P・N ミカン

☑もう20年くらい毎年初日の出を見に行っています。何年前か、31日に雪が降り雪化粧のなか見た日の出は忘れられないですね。

松澤八千代さん(20区)

☑昔は年末のもちつきと年越しそばの用意で忙しかつたのですが、現在は全て妻がスーパーで購入です。

匿名希望

☑邑楽町のシンボルタワーに初日を見に行きます。とてもきれいですよ!!

浜田結来さん(23区)

☑昨年ディスプレイランドのカウントダウン2011に行きました。ダンナといっしょにミッキーに「今年結婚したよ!!」と報告したら、ほっぺにチューしてくれました。

P・N かなな

☑年末にもちつき機でおもちつきをします。つきたてのおもちにあんこをのせて食べるのが大好き。

P・N なっちゃん

☑年末年始は、大掃除でした。今年こそは少しずつ掃除するぞと思いつつ掃除しました。

匿名希望

☑故郷の岩手県大槌町にいた頃、大みそかから正月にかけて必ず食べていた「にしめ!」。故郷は壊滅してしまっただけで、その味はしっかりとこのころに残っています。

P・N スクラム岩手

☑おじいちゃんとかいあげをしてたのしかった。

石垣裕人さん(17区)

☑食べすぎて太ってしまった。元に戻るのが毎年一苦労。

匿名希望

☑ニューイヤースタンプと箱根駅伝を2日間続けて見に行きました。

川島源樹さん(23区)

☑何年前の元旦に、ホットカーペットが壊れたこと。母が元旦早々に買ったのは、3畳分のものであったため、あまりにも大きくて大変だった。

P・N むったんのおかん



たむらさとみ
田村聡美さん (19歳)

好きなことは

友人とおしゃべりをしたり、買い物に行ったりすることです

自分の性格

友人から、何も考えてなさそうだけど、実際は周りをよく見ていて気配りができるねと言われます

夢に むかっ て

MY DREAM

町内の学校に在籍する、夢に向かってがんばっている人をご紹介します。

しっかり勉強して 信頼される保育士に

学校・学年は？
大泉保育福祉専門学校の保育科1年生です。

学校生活は？
同じ目標を持った友人たちと悩みを相談しあったり、目標に向かってがんばろうと励ましあいながら楽しく過ごしています。
夏休みには、保育園でアルバイトをしたのですが、トラブル発生の時の保育士さんの対応などとても勉強になりましたし、子どもたちと触れあうこともでき貴重な時間を過ごせました。

将来の夢は？

保育士を目指したのは、やはり子どもが好きだったからです。これまでは、学校を卒業すれば、何となく保育士になれるのではないかと思っていましたが、実際に入学してみると授業は専門的で、仕事に直結する内容なので、難しいと感じることもあります。でも全ての授業でしっかりと勉強して、子どもたち一人ひとりをきちんと見てあげられるような信頼される保育士になりたいと思います。

ちびっ子写真館



「ちびっ子写真館」では、3歳未満の町内在住のお子さんを紹介しています。掲載希望者は、広報情報課(☎63・3111 内線215)へご連絡ください。



もてぎりんと
茂木凜翔くん
(1区・2歳)

どんなちびっ子？

外で遊ぶのが大好きで、最近では三輪車の練習をしています。

好きなものは？

くるま。特にパトカー、消防車、ごみ収集車には敏感で、近くを通るとすぐに反応します。食べ物は好き嫌いもなく、特にうどんとカレーライスは大好きで何度もおかわりします。

パパ・ママからひとこと

お姉ちゃんと仲良く、元気にたくましく育ってね。パパとママは、これからの成長がとても楽しみです。



町のイベントや
地域のお話をお届けします。

広報で掲載された写真はご本人に
プレゼント！

広報情報課(☎63・3111 内線215)
までご連絡ください。



サンヨーからパナソニックへ

「パナソニック」として 新たな船出



12月23日から25日の3日間をかけ、長年、町民に親しまれてきた、三洋電機(株)東京製作所のテクノゲートに設置されていた「SANYO」の看板が、パナソニック(株)との事業統合により、「Panasonic」に変更されました。新しい看板の取り付け作業時には、新たな船出を迎えた会社の写真を撮ろうと、多くの町民の姿が見られました。



3日間の作業でロゴが一新されました



12月3日、県立大泉高等学校で、毎年恒例の「泉農フェア・農産物即売会」が行われました。当日は雨が降るあいにくの天気でしたが、良質な野菜や花などを求める多くの方が会場に詰めかけました。

泉農フェア

3月の一斉放流まで 大事に育てます

サケの受精卵の配布

12月4日、中央公園で、おおいずみまちサケと遊ぶ会による「サケの受精卵の配布」が行われ、多くの親子連れが訪れました。会場の一角では、「はじめてのサケの育て方相談室」も開かれ、熱心に耳を傾ける姿が見られました。3月には、利根川で稚魚の一斉放流が予定されています。



南中学校新校舎披露式典



12月7日、南中学校職員室で新校舎披露式典が行われ、町長、町議会議長をはじめ数多くの関係者が出席しました。式典終了後には内覧も行われ、校舎内の教室、設備などの特徴について説明を受けました。



木村あかさんの長寿を祝う

12月15日、木村あかささん（18区）が100歳の誕生日を迎えられました。町から慶祝状と記念品などが木村さんに贈られ、長寿をお祝いしました。

（写真は白寿を迎えられたときのもの）



「いのち」をテーマに 日頃の成果を披露

第40回芸能展示発表会

12月17・18日の2日間にわたり、文化むらで、「第40回大泉町文化協会芸能展示発表会」が行われました。今年は「いのち」をテーマに、展示の部では、書道、短歌、水墨画などが飾られ、芸能の部では舞踊や民謡、ダンスなどが披露され、訪れた人を魅了しました。

健康
レシピ
16

町食生活改善推進員の皆さんから、毎月料理を紹介していただきます。

さば
鯖缶でカレーワンタン
缶詰で手軽においしく

鯖ほど好き嫌いがはっきり分かれる魚ありませんが、鯖は栄養面では優れています。このカレーワンタンは、鯖を手軽に食べやすくした一品です。

食生活改善推進員 熊谷千代美さん（左）、勝 千代子さん



【材料（4～6人分）】

鯖の水煮缶	1缶
セロリ(粗めのみじん切り)	50g
ワンタンの皮	18枚
水溶き小麦粉	適宜
揚げ油	適宜
カレー粉	小さじ1
A マヨネーズ	小さじ2
粗挽きこしょう	少々

【1人分栄養価】

エネルギー	109kcal
たんぱく質	6.1g
脂質	6.3g
塩分	0.3g

【作り方】

- 鯖をつぶし、セロリを混ぜAで調理する
- ワンタンの皮に①をのせ、水溶き小麦粉を端につけ三角に折ってとめる
- 170～180℃の揚げ油で②をさっと揚げる



編集後記



記

▼初日の出の表紙から始まった昨年の広報でしたが、明るい話題が少なかつた年ではなかったかなと思います。今年は、町民皆さんの笑顔がいっぱいの明るいニュースが届けられればと思っています。本年もよろしく願います。(智)

▼90年代、胸のSANYOの文字は、白と赤を基調としたユニフォームと調和し、それを身にまとったリールプレートの選手を見ると誇らしく感じたものだ。テクノゲートのロゴ撤去を写真に収めながらそんな昔のことを思い出した。(慎)

▼昨年も何千枚と写真を撮影しましたが、撮影後に自分で納得できるのはほんのわずか。「ここぞー」という決定的なシャッターチャンスを見逃さず、皆さんの明るい表情を撮影できるように、今年はそのうに精進していきたいと思えます。(彰)